

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	チーム医療普及推進事業		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度限り		担当課室	医事課		課長:北澤 潤		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-1-1 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	「チーム医療の推進について」(平成22年3月19日 チーム医療の推進に関する検討会取りまとめ)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	質の高いチーム医療の実践を全国の医療現場に普及定着させ、看護師、薬剤師等医療関係職種の業務の効率化・負担軽減等を図るとともに、質の高い医療サービスを実現する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	平成23年度の「チーム医療実証事業」において効果的な取組を実施した医療機関(20施設程度)を選定し、当該医療機関の協力を得て、地域の医療機関職員等を対象としたチーム医療の実践に係るワークショップを開催する。 (委託先) 医療機関							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	/	/	77	/		
		補正予算	/	/	/	/		
		繰越し等	/	/	/	/		
		計	/	/	77	/		
	執行額	-	-	75	/			
	執行率(%)	-	-	97%	/			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		/	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	研修参加者数	成果実績	人	-	-	7,492	-	
		達成度	%	-	-	-	/	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		/	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	事業実施施設	活動実績 (当初見込み)	施設数	-	-	32	-	
					(-)	(20)	(-)	
単位当たりコスト	2,349千円/施設		算出根拠	24年度執行額/24年度実施施設数				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	-	-	-	-				
	計	-	-					

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	医療の効率性、安全性に資する事業であり、質の高いチーム医療を効果的に全国に普及させるために、国で実施すべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	質の高いチーム医療を効果的に全国に普及させるために、国で実施すべき事業である。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	医療の効率性、安全性に資する事業であり優先度が高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	公募により事業実施者を決定しており、選定は妥当である。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	交付要綱において補助対象、補助率等を定めており、負担関係は妥当である。	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	交付要綱に定められた合理的でかつ必要な経費に限られており、単位当たりのコスト水準は妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	交付要綱等において、真に必要なものに限定している	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	コスト削減に努めている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	見込みを上回っている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	事業者は実績報告の中で事業の検証を行うこととしている。	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
	-	-	-		
点検結果	<p>・平成23年度の「チーム医療実証事業」において効果的な取組を実施した医療機関の協力を得て、地域の医療機関職員等を対象としたチーム医療の実践に係るワークショップを開催し、効率的なチーム医療の普及を推進(本事業の研修参加者は7,492名)するとともに、その取り組み内容をとりまとめ、医療関係団体等を通じて医療機関に情報提供し、今後のチーム医療の普及に役立てた。</p> <p>・なお、当該事業は平成24年度限りの経費である。</p>				
	外部有識者の所見				
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
-					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
-					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	-	平成23年	新24-0003	平成24年	新24-002

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
75百万円



A. 医療機関(32)
75百万円

事業内容
・質の高いチーム医療の実践を普及・定着させることを目的に、地域の医療機関職員等を対象としたチーム医療の実践に係るワークショップの実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかにつ
いて補足する)
(単位：百万
円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.学校法人東邦大学			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	会議開催経費(会場借料、スタッフ旅費、役務費)	2			
需要費	消耗品費・印刷製本費	1			
報償費	講師・ファシリテーター謝金	1			
計		4	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	学校法人東邦大学	チーム医療普及・定着のためのチーム医療の実践に係るワークショップの実施	4		
1	医療法人鉄蕉会	チーム医療普及・定着のためのチーム医療の実践に係るワークショップの実施	4		
1	独立行政法人国立病院機構東京医療センター	チーム医療普及・定着のためのチーム医療の実践に係るワークショップの実施	4		
1	日本赤十字社滋賀県支部	チーム医療普及・定着のためのチーム医療の実践に係るワークショップの実施	4		
1	独立行政法人国立精神・神経医療研究センター	チーム医療普及・定着のためのチーム医療の実践に係るワークショップの実施	4		
1	社団法人是真会	チーム医療普及・定着のためのチーム医療の実践に係るワークショップの実施	4		
2	財団法人厚生年金事業振興財	チーム医療普及・定着のためのチーム医療の実践に係るワークショップの実施	4		
3	国立大学法人東北大学	チーム医療普及・定着のためのチーム医療の実践に係るワークショップの実施	4		
4	医療法人い内科クリニック	チーム医療普及・定着のためのチーム医療の実践に係るワークショップの実施	4		
5	医療法人翔南会	チーム医療普及・定着のためのチーム医療の実践に係るワークショップの実施	4		